

○会長挨拶

ご多用の中ご出席ありがとうございます。12月になり寒くなった。最近はWith コロナで感染予防と活動の両立が求められているが、感染者は増えているので注意したい。今年最後の回だが、学校の増築整備計画についての進捗について具体的な内容を整備課から聞きながら、すすめていきたい。よろしくお願いします。

○校長挨拶

明日、終業式を迎える。コロナは、学級閉鎖2学級あったが、その後はそれほどでもなかった。ここ2・3日で増えている傾向がある。明日無事に終えて、年末年始を過ごしてほしい。2学期は、移動教室5・6年が実施できた。HPに写真をたくさんのおせ、保護者にも様子を知らせることができ、好評だった。学習発表会にもCS委員の方にも参観していただき、児童の様子を見ていただきありがとうございました。増築に関して、本日説明。今は、オープンに教室があり、音楽なども音が聞こえる状態。よりよい環境づくりに向け、よろしくお願いします。

○増築に関する説明について

・学校整備課より

<学校整備担当部長：中村さんより>

増築等の基本計画の見直しを行ったことについての報告。三階建ての増築等の整備を計画していた。人口の動態を見ながら計画の見直しをしている。教育委員会でも6月、11月の将来的な児童生徒の数を確認している。11月の未就学児童の数が減少していることが分かった。3階建ての建築計画を、縮小したいと見直しをしたところ。2階建てに変更したいと考えている。高さが12mから、8.4mになる。1階には学童クラブ、2階は、多目的室と図工室。オープンスペースにある教室・環境の改善を考え、増築を計画している。学童クラブの併設に当たって、教員の負担にならないように、子供家庭部から説明がある。スケジュールや図面については、後程説明します。

<学校整備課白石さんより>

- ・資料を基に教室配置等、増築等平面図について。
- ・スケジュールについて
- ・説明会等について

<学童クラブ整備担当課長：千葉さんより>

12月1日付の広報にも掲載されているが、取組を進めるもの、休止して検討するものがある。放課後等居場所事業を高井戸小で実施することが、一旦休止することとなった。今後の子供の居場所については、検討する予定。

学童クラブについては、配置等含め、変更はなし。高井戸小の児童数が減少傾向ということだが、女性の就業率が上がっていることから、3割ぐらいを見込んでいる。学童については、変更しない予定。学童が学校内にはいることで教員の負担が増えることを心配されているが、杉並区内の実績もあるので、専門の職員を配置し、教員負担が無いようにしていく。高井戸小の子供たちは昇降口をでて、学童の昇降口へ。他の児童は、門から入ってくる。遅く帰る児童には、学校の出口まで職員が付き添い、帰らせるようにする。

○内藤博孝：学童クラブの指導員の資格などを確認したい。

⇒学童は40人程度に職員2名の規定がある。そのうち1名は保育士免許、教員免許がある有資格者。もう1名は東京都の学童クラブの研修をした補助員を付けることになっている。

○内藤：それなりの知識と経験がなければいけないと思う。学校の時間と学童の終わりの時間も違う。

⇒学童を担う事業者は、高井戸学童クラブと同じ事業者に委託する予定。区内で11の学童クラブを委託・運営している事業者。

○内藤：本当に問題がないのか。納得ができない。過去に実行しているところは問題ないからといって、問題が

ないといえるのか。

⇒ノウハウがある事業者であることを伝えたかった。学校の中での運営にもノウハウがあることを伝えたかった。

○内藤：一つのところに、二つの管理化になる。今のところ問題ないということだけ。

⇒学校は、学びの場。学校の中に学童を創る。所管は違うが、教育委員会が実態をしっかりとつかんでおく必要がある。今は、情報が聞こえてこないだけかもしれない。教育委員会も子供家庭部と、より連携をとって確認していきたい。

○内藤：データを取って確認等してほしい。学童と教育の違いを大事にしないといけないと思う。学校の中に入ること、学童の活動が抑制されることもあると思う。学校側も負荷があると思う。なぜ、高井戸学童があるのに一緒にするのかと思う。乳幼児をケアする施設も近隣に作られている。地域の検討をお願いしたい。

⇒児童館の再編、子育てプラザにする方向が一旦休止となった。今、見直ししている。ご意見を賜ればと思う。児童館の子ども子育てプラザへの転用はいったん休止。

○内藤：2つの組織が1つになると、調整が大変。校長の判断も難しくなる。言いたくても言えない人もいる。⇒学校によってルールも様々。区の職員も入り、しっかりと主体的にかかわり、学校のルールと合わせていく。

○内藤：学校によって特徴があり違う。高井戸小の特徴がある。高井戸児童館と高井戸小にある児童館では、対応の仕方も変わると思う。場所を変えると遊び方や交流の仕方も変わる。文書をもらい、状況をお知らせしてほしい。便利だからなどということも含め、全部知らせてほしい。

⇒高井戸児童館のよさや、高井戸小のよさはそれぞれある。小学校の中に入って変わるのもよくない。子供家庭部と教育委員会が連携をとってやっていく。

○会長：基本は、高井戸小も学童もよい教育の場となってほしい、教員の負担にならないなど、体制の混乱を避けてほしい。2点のことを軸として、今後もしっかりと見てほしい。

⇒区役所で、連携をしっかりとしていく。CS、学校管理職とも相談し、課題等を教育委員会で受け止め、子供家庭部と共有して対応していく。

○蘆塚：年2回見て判断したのであれば、増えるが減ることになったことについても、根拠がなく、説明になっていないと思う。また、やるもの、やらないものに分けたというが、一旦停止したことについても説明がない。

⇒住民基本台帳によると新1年生が134名まで減少傾向にあることが分かった。令和7年がピークでその後減る傾向。令和5年は133名程度。9割程度が入学している。概ね4クラス程度で推移していくことがここ1～2年で分かった。令和2年では多い状況だった。2年続けて減っていた。

○蘆塚：減っている原因については、分析しているのか。

⇒今は、9割が入学することが続いている。以前よりは推計しやすくなった。所管とも協議しながら確認していく。高井戸地域だけではなく、杉並区全体も人口が微増。令和2桁になったら減少するといわれている。原因や分析が難しい。何が原因とははっきりわからない。数の流れは、傾向から類推するしかない。科学的な分析が東京都もできていない。オープンスペースを教室にする弊害を取るため、2階建てでも十分対応できると考えている。

⇒子供子育てプラザ転用、放課後居場所事業、高井戸小学童の前2つは休止。高井戸学童クラブは100名程度。過去40名ほどの待機児童が出ていた。集会室を改修し、200名が登録している状況。200名だと課題が出てくる人数である。密な状況。校内に学童クラブを整備することで密を解消できる。

○会長：大きな方向性を教えてほしい。

⇒学童クラブに関しては、休止する取り組むからは外したい。

○会長：検証しながら進めたい、ということだと思う。

○青木：マンションがものすごく増えた。予測はできないと思う。高井戸小はマンモス校だと思う。4クラスでいくと工事をするとき、子供の遊び場が減ってしまう。以前の改築のところは、遊べる場所を確保してもらった。今回は？

⇒区画はしっかりととり、子供たちが遊べるように計画している。移動等では安全面もあるので、今回は校内でのみで考えている。工事中の安全確保については、第一に考え、進めていく。

○青木：音の問題もある。ほこりも。学校行事も、学校と相談しながら進めてほしい。

○校長：子供第一に、負担の無いようお願いしている。工期が短くなったことはよかった。

○内藤：児童数は減るであろうと思う。新しいマンションに入った方々が多かったからだと思う。今、ピークがきたと思う。

○会長：計画の途中で推計が変わったことで、変更になった。人口が上振れしないということだと思う。不足することはないということ？

⇒それはないと考えている。

⇒スケジュールの補足で、夏に小さい工事が入るかもしれない。分かり次第連絡する。

○会長：準備工事だけでも夏休み中にできるとよい。教室は南側にし、北側の教室は解消する方向ではどうか。

⇒教育環境・質を上げていきたい。

○蘆塚：CS フォーラムに参加した内容について（資料配布）

○青木：フォーラムでは、人が大事、学校をよくするために集まっている・意見を共有する目的であることを理解することが大事であるという内容だった。

○蘆塚：他の方がやっていることが分かってよかった。

○青木：学校のためにやろうという地域も親も集まってくる。それを掲げて行くとよいと思う。

○土志田：PTA 連合協議会（各校1名集まる会）で共有された情報について

・チェーンメールについて。小学校高学年 LINE を使い、チェーンメールが身近で出回っているとのこと。PTA の会員には、メール配信システムを導入したのでそちらで伝えている。保護者としては無視できない。

・杉小 P 協で東田小、西田小が P 協から撤退することを宣言した。2 分区から 2 ついなくなる。役割の担当を出せないという話になっている。退会の理由は立候補者がいない。P 協に代表者を出す意義が認められないということがあった。このような傾向について、感想があれば。

○青木：PTA はある？

○土志田：西田も PTA の入会率は 80% を切ったと聞いている。

○青木：PTA は大変だと思うが、P 協などやっている人は他でもやっている。人とつながることで広がりがある。

○土志田：本校 PTA の加入率は 2～6 年は 90%。1 年は 80% を切る状態。後で入る人もいる。メール配信システムを導入したら入る方もいた。微妙な状態。P 協は年間 30 回午前 10 時～12 時までの会がある。何かを変えたいと考えている。部門によってばらつきがある。持続可能な形ではない。

○齋藤：うまくいっている学校はあるのか。

○土志田：ある。できる範囲の業務、運営形式にしないといけない。子供のために活動したいという保護者もいる。

○会長：今まで見過ごしてきた前例踏襲できたことを、議論してまとめていくことがよいと思う。

○土志田：なくなるのはもったいないと思う。

○青木：一年交代ではなくすのもよいかも。

○土志田：数年やって経験を生かせるようにしたいという話も出ている。

○蕨南：ファミリー会で、1 月に紙飛行機大会を実施する。イベント再開していきたい。

○青木：おやじネットワークがある。コロナで集まれないことも。

○内藤：高井戸朝会は、イベントはすべて中止にしている。イベント・行事については、コロナ感染症防止対策を十分に注意してほしい。よろしくお願ひしたい。4 月の消防祭りも中止にした。

○会長：増えていることは間違いないので、自治体からの要請もあると思うから、確認しながら様子を見て、気

を付けていく必要があると思う。

○内藤：感染経路もわからないところもあるから、対応をしっかりとしてほしい。

○会長：コロナの数は増えている。気を付けていかないといけない。

○CS 次回は、1月21日（土）午前11時～校長室にて